

管理論文

2026

TOCAY
01 巡査部長
巡査部長の立場

目標
 巡査部長は部下を指導監督し、第一線の現場において活動し、そこで、あなたが考える巡査部長の立場と役割を心構えに
 ▼▼▼ 暗記用ダイジェスト

1 巡査部長の立場と役割

(1) 立場
 ア 部下と共に活動する初級幹部
 ○ 巡査部長は、**要職の中心**である
 ○ 部下の**指導監督**を行いつつ、**部下と共に職務を適切に遂行する**
 イ 現場における業務担当者
 巡査部長は、**部下の不祥事や非違事実の未然防止**に努める

(2) 役割
 ア 業務の適切な遂行
 ○ 現場事務の発生等については、上司に**警告、指図**で指示を受ける
 ○ **業務の改善**等については、積極的に**意見**を述べる
 イ 身上把握の徹底と非違事実防止
 ○ 職務遂行上の**障害となる事項を把握**した上、上司に**報告**する
 ○ **信頼関係を構築し、早期に相談や報告**を受けられる環境を整備する
 ウ 部下の指導育成
 ○ 部下の**指導育成**は、**人的基礎を強化**する上で特に重要である
 ○ 部下の業務進捗を適宜確認し、**目標達成に向けた指導**を行う

2 巡査部長としての心構え

(1) 部下との信頼関係の構築
 積極的なコミュニケーションを通じ、部下との信頼関係を構築する

(2) 率先垂範
 率先して**困難な業務に取り組み**ことで、リーダーシップを発揮する

(3) 自己研鑽
 幹部としての**知識、技能や人間性**を高めるための**自己啓発**に努める

(4) 失敗に対する寛容改善
 安易な叱責は、**失敗自体を回避**するなどの**非違事実**に発展する

(5) 幹部としての自覚
 部下を**指導監督する立場**にあることを常に自覚する

大好評の暗記用ダイジェスト！

- 採点項目となる重要ポイントだけを簡条書きで整理！
 要点を素早く確認でき、効率的に答案の型(書くべきポイント)を身につけられるようにしました。
- 購入者専用のダウンロードページからスマホ等にダウンロードして、カラー版をお使いいただけます。

○ 職務遂行上の障害となる事項を把握した上、上司に報告する
 ○ 信頼関係を構築し、早期に相談や報告を受けられる環境を整備する

2 身上把握・指導の具体的方策

(1) 身上把握の基本
 ア 職務上の説明
 身上把握の重要性を丁寧に説明する
 イ 情報収集
 ○ 自然に情報を収集する
 ○ 部下職務上の負担を可能な限り軽減した方法を用いる

(2) 家族等との連携
 ア 家族との対話
 イ 居住環境や生活状況の把握

(3) 困難兆候の把握と対応
 ア 相談と対応
 ○ 部下職務上の困難や注意に**注意を払**う
 ○ 非違事実の発生に対する適切な対応
 ○ 若手警務職員の特性を理解した**身上把握・指導**

3 留意事項

(1) ハラスメントの防止
 (2) 保釈の徹底

かつの留意事項をとる
 (5) 不利益処分防止
 パワハラを含め、ハラスメントについて相談した者が不利益処分を受けることはない

22

23

4. スタンダードな答案の書き方

答案は、前論・本論・後論で構成しよう。

答案構成例

前論 (導入)	1 はじめに	
	2 意義、重要性、必要性、問題の所在等	
	3 幹部の立場・役割・心構え等	
本論 (メイン)	4 具体的方策 (1) ア イ (2) ア イ (3) (4) (5)	
	5 留意事項等	
	6 おわりに(決意表明等)	
	後論 (結びの言葉)	

※ 上記は基本的な答案構成の例のため、本書では、上記と異なる構成となっているものもあります。

はじめに
 導入となる部分。「最近の情勢・傾向」や「出題の背景」を書くことにより、後の論点をより明確にすることができます。

意義、重要性、必要性、問題の所在等
 本論へ発展する部分。施策の重要性・必要性や、問題の所在を示すことで、本論に焦点が定まり、説得力が増します。

幹部の立場・役割・心構え等
 各級幹部には、それぞれの立場・役割があり、特に管理論文では、各階級の立場で論述することが求められます。

具体的方策
 設問の「問いかけ」に、具体的に答えていく部分であり、最も力を入れるべきところです。いかに論点に、重要な点を盛り込むかが、「採点能力」が求められます。見出しを立てて、読みやすくする工夫も必要です。

留意事項等
 本論で盛り込めなかった事項等があれば、ここで補定します。制限字数・時間に配慮しながら書いていきましょう。

おわりに(決意表明等)
 結びとなる部分。今後の取組姿勢や自分の決意といった、締めくくりに言葉を添えたい。答案がピシッと決まります。

こんなポイント

- 制限時間内で書ける文章量を意識しよう。
- 一文が長くなりすぎないようにしよう。
- 簡潔な表現を意識しよう。

こんなポイント

こんな欠点がないか注意

- 字が汚くて読めない
- 「はじめに」「おわりに」が長すぎる
- きれいごと、抽象論ばかりになっている

はじめての管理論文

- 初めて昇任試験の論文を受ける方、必読！
- 「管理論文とは何なのか」から「各階級の立場・役割」まで掲載！
- 警部補試験、警部試験を受ける方も基本の復習に最適！

本書の使い方	02
職務倫理の基本	06
はじめての管理論文	07

暗記用ダイジェスト編

巡査部長	22
警部補	30
警部	38

フル答案編

巡査部長

 1位	01 巡査部長の立場と役割	48
 2位	02 非違事案防止に向けた身上把握・指導	50
 3位	03 年上の部下に対する指導教養	52
	04 パワー・ハラスメントの防止	54
	05 士気の高揚と厳正な規律	56
	06 殉職・受傷事故の防止	58
	07 SNS利用時における留意事項	60
	08 情報の流出・漏えい防止	62

警部補

1位	01	業務上における非違事案防止	64
2位	02	非違事案に係る前兆事案の把握	66
3位	03	セクハラ事案認知時の対応	68
	04	警部補の立場と役割	70
	05	若手警察官の現場執行力の向上	72
	06	職務倫理教養	74
	07	リカバリー教養	76
	08	メンタルヘルス対策	78

警部

1位	01	ワークライフバランス	80
2位	02	働き方改革	82
3位	03	総合的な福利厚生施策	84
	04	ハラスメントの防止	86
	05	警部としての資質と能力	88
	06	非違事案の前兆を把握した際の対応	90
	07	当直時における報道対応	92
	08	当直責任者としての任務と配意事項	94





職務倫理の基本

(警察職員の職務倫理及び服務に関する規則 2 条 2 項)

- 1 誇りと使命感を持って、
国家と国民に奉仕すること。
- 2 人権を尊重し、公正かつ親切に
職務を執行すること。
- 3 規律を厳正に保持し、
相互の連帯を強めること。
- 4 人格を磨き、能力を高め、
自己の充実に努めること。
- 5 清廉にして、
堅実な生活態度を保持すること。

はじめての管理論文

1. 管理論文ってなに？

まずはじめに……

昇任試験は、落とすためのものではなく、
「誰を昇任させるか」を判断するものです。

警察組織の期待

- 「将来の警察を担う幹部を昇任させたい」
- 「1人でも多く上位の階級に昇任してほしい」

論文試験は、基本4法、実務科目もありますが、管理論文とは、
警察組織の課題・目標について、
「幹部として何をすべきか」という切り口で
受験者の知識・考え方・意気込みを書かせるものです。

階級ごとに、求められる答案の内容・深度が異なります。
階級が上がるほど責任が増し、次のようなチカラが求められます。

- 自らを律し、学び続ける力
- 管理する力
- 人を動かす力
- 時代の変化に対応できる力
- 危機に対応できる力
- 先を読む力



各階級の役割

(詳細はp17～p18参照)

巡查部長 実働の中核。現場の最前線で、自らが手本となっており、部下に実践的な指導・監督を行う。現場への指示を伝え、現場の要望を上司に伝えるパイプ役でもある。

警部補 プレイングマネージャー。各課（係）間の調整役。中間幹部として現場の責任者でもあり、実働的な面で部下を直接指導・監督もする。担当係レベルでの人事管理・業務管理上の責任も有する。

警部 警察署の課長。警察署長を補佐し、署の運営方針に基づき部下を動かして、課の目標を達成していく。部下の人事管理・業務管理上の要となるだけでなく、部外・対外的な連絡調整・交渉を行う点でも重要な階級である。

Point!



ここがポイント

ここに挙げたことが「今すぐできるから」合格するものではありません。

上を目指して努力することが大切であり、部下を指導・監督しつつ自らも学んで自己を高めることで、真に幹部として成長し、機能するのです。

幹部として求められること

- 将来を期待される知識・技能がある
- 人格・識見ともに優れている
- 現状に甘んじることなく勉強を続けていく
- 社会情勢の変化に対して的確に対応する
- 強靱な体力・精神力がある
- 強い責任感・使命感がある

上を目指すという熱意を込めて書きましょう。



管理論文 2026

暗記用ダイジェスト

DIGEST

巡査部長の立場と役割

⇒フル答案是P48

問題

巡査部長は部下を指導監督し、第一線の現場において活動する初級幹部である。そこで、あなたが考える巡査部長の立場と役割及び心構えについて述べなさい。

▼▼▼ 暗記用ダイジェスト ▼▼▼

1 巡査部長の立場と役割

(1) 立場

- ア 部下と共に活動する初級幹部
 - 巡査部長は、実働の中核である
 - 部下の指導教養を行いつつ、部下と共に職務を適切に遂行する
- イ 現場における業務管理者
 - 巡査部長は、部下の不祥事や非違事案の未然防止に努める

(2) 役割

- ア 業務の適切な遂行
 - 問題事項の発生等については、上司に報告、相談して指示を受ける
 - 業務の改善点等については、積極的に意見具申する
- イ 身上把握の徹底と非違事案防止
 - 職務遂行上の障害となる事柄を把握した上、上司に報告する
 - 信頼関係を構築し、早期に相談や報告を受けられる環境を整備する
- ウ 部下の指導育成
 - 部下の指導育成は、人的基盤を強化する上で特に重要である
 - 部下の業務進捗を適宜確認し、目標達成に向けた指導を行う

2 巡査部長としての心構え

- (1) 部下との信頼関係の構築
 - 積極的なコミュニケーションを通じ、部下との信頼関係を構築する
- (2) 率先垂範
 - 率先して困難な業務に取り組むことで、リーダーシップを発揮する
- (3) 自己研さん
 - 幹部としての知識・技能や人間性を高めるための自己啓発に努める
- (4) 失敗に対する意識改革
 - 安易な叱責は、失敗自体を隠蔽するなどの非違事案に発展する
- (5) 幹部としての自覚
 - 部下を指導監督する立場にあることを常に自覚する

非違事案防止に向けた 身上把握・指導

⇒フル答案是P50

問題

非違事案防止対策について、組織を挙げて取り組んでいるところであるが、依然として、全国において非違事案が発生している状況にある。そこで、巡査部長として、非違事案を防止するための効果的な身上把握・指導の具体的方策について述べなさい。

暗記用ダイジェスト

1 身上把握の重要性

- (1) 国民（県民、市民等）からの信頼の保持
 - 警察全体の信頼が大きく損なわれる
 - 士気が低下し、組織全体の活力を奪う結果となる
- (2) 職員の保護

非違事案の前兆を早期に発見し、適切な指導を行う

2 身上把握・指導の具体的方策

- (1) 身上把握の基本
 - ア 重要性等の説明

身上把握の重要性を丁寧に説明する
 - イ 情報収集
 - 自然に情報を収集する
 - 部下職員の負担を可能な限り軽減した方法を用いる
- (2) 家族等との連携
 - ア 家族との対話
 - イ 居住環境や生活状況の把握
- (3) 問題兆候の把握と対応
 - ア 観察と会話

部下職員の勤務態度や言動に注意を払う
 - イ 非違事案の前兆に対する適切な対応
- (4) 若手警察職員の特性を理解した身上把握・指導

3 留意事項

- (1) ハラスメントの防止
- (2) 保秘の徹底

年上の部下に対する指導教養

⇒フル答案是P52

問題

あなたは巡査部長に昇任し、交番勤務となり、あなたよりも10歳以上年上で勤務意欲が低下した巡査長を部下として持つこととなった。そこで、年上の部下に対してどのように指導するか、その具体的方策について述べなさい。

▼▼▼ 暗記用ダイジェスト ▼▼▼

1 指導の難しさと重要性

(1) 指導の困難さ

- 年齢や経験が上であるという意識から、指導が難しいと感じられる
- 指導が遠慮がちなものになれば、問題が放置されることにつながる

(2) 指導の重要性

適切な指導によって、部下職員の経験を活用しつつ職務に対する前向きな姿勢を引き出すことが組織全体の活力につながる

2 勤務意欲低下に係る問題点

(1) 非違事案の温床となり得る

自浄機能が低下し、非違事案が発生する可能性が高まる

(2) 職員自身への悪影響

(3) 職場への悪影響

勤務意欲の低い職員が職場の士気を下げる要因となり得る。

(4) 警察活動への悪影響

消極的な職務執行は、警察に対する信頼が低下する

3 具体的な指導方策

(1) 信頼関係の構築

年上の部下職員の経験や知識を尊重し、信頼関係を築く

(2) 原因の把握

- 部下職員の勤務意欲低下の原因を、面談や日常の観察を通じて特定する
- 職場環境や私生活の問題が原因の場合は、その背景の理解に努める

(3) 指導の進め方

尊厳を傷つけないよう配慮し、必要な指摘は適切に行う

(4) 適正な評価

(5) 規律の保持

(6) 年上の部下職員への配慮

管理論文 2026

フル答案



01

巡査部長の立場と役割

問題

巡査部長は部下を指導監督し、第一線の現場において活動する初級幹部である。

そこで、あなたが考える巡査部長の立場と役割及び心構えについて述べなさい。

見開き完結箇条書き答案例

ダイジェストはP22を！

1 はじめに

国民（県民、市民等）の安全と安心を守り、その期待と信頼を得るためには、実動の中核として第一線で活動する巡査部長の役割が非常に重要なものとなっている。そこで、巡査部長としての立場と役割を十分に認識し、部下と共に職務に邁進していかなければならない。

2 巡査部長の立場と役割

(1) 立場

ア 部下と共に活動する初級幹部

- 巡査部長は、部下と共に現場での迅速適正な職務執行を行う実動の中核である。
- 上司の指示を受け、部下の指導教養を行いつつ、部下と共に職務を適切に遂行する。

イ 現場における業務管理者

巡査部長は、部下の勤務状況の把握や身上把握を通じて、不祥事や非違事案の未然防止に努める。

(2) 役割

ア 業務の適切な遂行

- 業務の進捗状況について上司に報告する。
- 問題事項の発生、国民（県民、市民等）からの苦情等については、安易に判断することなく、上司に報告、相談して指示を受ける。
- 現場における業務の改善点等については、積極的に意見具申する。

イ 身上把握の徹底と非違事案防止

- 不幸な部下とその家族を出さないため、私生活上の悩みや心配事を含め

て、職務遂行上の障害となる事柄を積極的に把握した上、上司に報告する。

- 部下に対して高い倫理観や規範意識を持つよう日常的に指導する。
- 部下との信頼関係を構築し、問題が発生した際には早期に相談や報告を受けられる環境を整備する。

ウ 部下の指導育成

- 若手警察官にとっては、直近の上司である巡査部長の存在が、将来に大きく影響することを認識する。
- 部下の指導育成は、人的基盤を強化する上で特に重要であることを認識する。
- 部下の業務進捗を適宜確認し、目標達成に向けた指導を行うとともに、部下が自主的に考え、行動できる力を養う。

3 巡査部長としての心構え

(1) 部下との信頼関係の構築

- 積極的なコミュニケーションを通じ、部下との信頼関係を構築する。
- 部下に対して公平かつ誠実に対応し、結果だけでなく、その努力の過程も評価する。

(2) 率先垂範

- 自らが模範となる行動を示し、部下に信頼される指導者としての姿勢を保持する。
- 率先して困難な業務に取り組むことで、リーダーシップを発揮する。

(3) 自己研さん

幹部としての知識・技能や人間性を高めるための自己啓発に努める。

(4) 失敗に対する意識改革

- 部下の失敗に対する安易な叱責は、部下を委縮させ、失敗自体を隠蔽するなどの非違事案に発展するおそれがあることを認識する。
- 上司に報告して組織に乗せるなど、適正に対処する。

(5) 幹部としての自覚

- 部下を指導監督する立場にあることを常に自覚する。
- 巡査部長としてふさわしい言動を心掛ける。

4 おわりに

組織管理上、巡査部長が自らの立場を認識し、その役割を果たすことは非常に重要なことである。

巡査部長として、部下の指導監督を通じて警察組織の要となる人材の育成に努めるとともに、各種業務を積極的に推進し、国民（県民、市民等）の期待と信頼に応えていく所存である。



02

非違事案防止に向けた 身上把握・指導

問題

非違事案防止対策について、組織を挙げて取り組んでいるところであるが、依然として、全国において非違事案が発生している状況にある。そこで、巡査部長として、非違事案を防止するための効果的な身上把握・指導の具体的方策について述べなさい。

見開き完結箇条書き答案例

ダイジェストはP23を！

1 はじめに

非違事案を未然に防止し、国民（県民、市民等）の安全・安心の確保に向けて、全力で業務に取り組むためには、部下職員の身上把握を徹底し、適切な指導を行うことが不可欠である。そこで、巡査部長として、効果的な身上把握と指導に積極的に取り組まなければならない。

2 身上把握の重要性

(1) 国民（県民、市民等）からの信頼の保持

- 非違事案が発生した場合、国民（県民、市民等）からの信頼を失い、警察全体の信頼が大きく損なわれる。
- 職員間の士気が低下し、組織全体の活力を奪う結果となる。

(2) 職員の保護

- 非違事案の当事者本人やその家族に多大な影響を与える。
- 身上把握を通じて非違事案の前兆を早期に発見し、適切な指導を行うことで、当該職員の不幸を未然に防ぐことができる。

3 身上把握・指導の具体的方策

(1) 身上把握の基本

ア 重要性等の説明

- 部下に対し、身上把握の重要性を丁寧に説明し、プライバシーの侵害と誤解されないよう努める。
- 非違事案が発生した際に失うものの大きさを具体的な事例を挙げて認識させる。

イ 情報収集

- 改まった質問ではなく、部下との日常会話や勤務中の観察を通じて自然に情報を収集する。
- 情報の収集は、部下職員の負担を可能な限り軽減した方法を用いる。

(2) 家族等との連携

ア 家族との対話

- 部下職員やその家族が抱える問題は職務遂行に影響を及ぼし、非違事案の要因にもなり得る。
- 必要に応じて家族も含めた身上把握・指導を行い、職場と家族とのつながりを醸成して、心配事等の早期解決に努める。

イ 居住環境や生活状況の把握

- 独身寮の訪問や家庭訪問を実施し、居住環境や生活状況を把握する。
- 若手職員に対しては、社会人としての自覚を促す指導も重要である。

(3) 問題兆候の把握と対応

ア 観察と会話

- 部下職員の勤務態度や言動に注意を払い、普段と異なる変化が見られた場合には、迅速に対応する。
- 部下職員が自ら話しやすい環境を整える。

イ 非違事案の前兆に対する適切な対応

- 問題兆候の内容を正確に把握し、助言や指導を行う。
- 内容に応じて支援機関の紹介を行うなど、組織全体で解決を図る。

(4) 若手警察職員の特性を理解した身上把握・指導

- 身上把握・指導を行うに当たっては、階級、実務経験、年齢等に配慮する必要がある。
- 若手警察職員は、その特性から公私にわたり多種多様な悩みを抱えている場合が多いことから、その特性を理解した上で行う。

4 留意事項

(1) ハラスメントの防止

行き過ぎた指導は、パワー・ハラスメントやセクシュアル・ハラスメント等となるおそれがあることから、対象者に応じた身上指導・把握に努める。

(2) 保秘の徹底

身上把握で知り得た情報については、保秘を徹底し、上司や必要な関係者にのみ共有する。

5 おわりに

巡査部長として、身上把握・指導の目的や重要性を部下職員に理解させた上で、信頼関係を構築し、真に実効性のある身上把握・指導を行っていかねばならない。